

# 青森県報

号外第十四号

平成十八年  
三月八日  
(水曜日)

## 目 次

### 海区漁業調整委員会

東部海区管内におけるいかつり漁業の光力規制の指示…… (事務局) ……  
東部海区管内における底魚類のはえなわ漁業の操業の指示 ( ) ……  
西部海区管内におけるいかつり漁業の光力規制の指示…… ( ) ……

## 海区漁業調整委員会

### 青森県東部海区漁業調整委員会指示第一号

青森県東部海区管内沖合海域におけるいかつり漁業の操業について、漁業法（昭和二十四年法律第二百六十七号）第六十七条第一項の規定により次のとおり指示する。

平成十八年三月八日

### 青森県東部海区漁業調整委員会

会 長 新 田 常 雄

#### 一 集魚灯の合計光力

集魚灯の合計光力は、百八十キロワット以下とする。

なお、集魚灯とは、海上において、するめいかの採捕時に集魚の目的をもって使用し得るよう設備されているものとする。投光器または探照灯であっても集魚時に使用される場合はこれを含む。

#### 二 対象となる漁業

三十トン未満の動力船により、するめいかを対象に操業する小型いかつり漁業  
指示の有効期間  
平成十八年四月一日から平成十九年三月三十一日までとする。

### 青森県東部海区漁業調整委員会指示第二号

青森県東部海区管内における底魚類の採捕を目的とするはえなわ漁業（底はえなわ漁業）の操業について、漁業法（昭和二十四年法律第二百六十七号）第六十七条第一項の規定により次のとおり指示する。

平成十八年三月八日

### 青森県東部海区漁業調整委員会

会 長 新 田 常 雄

#### 一 操業の制限

1 次に掲げる海域においては、動力漁船を使用して行う底魚類の採捕を目的とするはえなわ漁業（以下「底はえなわ漁業」という。）の操業をしてはならない。

ただし、青森県東部海区漁業調整委員会（以下「委員会」という。）の承認を受けた者については、この限りでない。

#### 制限海域

青森県下北郡尻屋埼灯台と北海道函館市恵山岬灯台中心点を結んだ直線以東及び青森県上北郡六ヶ所村大字出戸と大字泊との境に設置した標柱（基点第九号）から正東の線以北の青森県東部海区管内の海域。ただし、下北郡尻屋埼灯台中心点から正東の線以北の海域における同灯台中心点から半径十海里以遠の海域及び下北郡尻屋埼灯台中心点から正東の線以南の海域における共同漁業権漁場を除く。

2 次に掲げる海域においては、動力漁船を使用して行うめいけ・きちじの採捕を目的とするはえなわ漁業の操業をしてはならない。

#### 制限海域

上北郡六ヶ所村大字出戸と大字泊との境に設置した標柱（基点第九号）から正東の線以南の青森県沖合海域。

#### 二 操業の承認

底はえなわ漁業を営もうとする者は、「平成十八年度青森県東部海区底はえなわ漁業操業承認事務取扱要領」により申請し、委員会の承認を受けなければならない。

## 1 承認海域

下北郡尻屋埼灯台中心点から正東の線と上北郡六ヶ所村大字出戸と大字泊との境に設置した標柱（基点第九号）から正東の線とよってはさまれた太平洋の海域

## 2 承認期間

平成十八年四月一日から平成十九年三月三十一日まで

## 3 承認対象者

青森県内に住所を有する者であつて、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (一) 平成十七年度に底はえなわ漁業を操業した実績を有する者  
 (二) 委員会が特に認めた者

## 4 承認隻数

六隻以内とする。

## 5 使用船舶の制限

使用船舶の総トン数は、操業の実績を有する承認船舶の総トン数を超えないこととする。

## 6 承認証の交付

委員会は、承認したときは、底はえなわ漁業操業承認証を交付する。

## 7 承認の取消

委員会は、この指示に違反したときは、承認を取り消すことができる。

## 三 操業者の遵守事項

## 1 漁具の制限

漁具の総延長は三キロメートル以内とする。

## 2 漁具の標識

操業中の漁具には、漁具標識を明確にするとともに、船名を明記した名札を付さなければならぬ。

## 3 船体の表示

承認を受けた者は、使用する船舶の船橋両側の見やすい場所に、定められた標識を表示しなければならない。

## 4 承認証の携帯

操業にあつては、承認証を携帯しなければならない。

## 5 承認証の書換交付

承認証の記載事項に変更があつたときは、速やかに申請し書換交付を受けるこ

と。

## 6 漁獲成績の報告

承認を受けた者は、操業終了後速やかに委員会に漁獲成績を報告しなければならない。

## 四 指示の有効期間

平成十八年四月一日から平成十九年三月三十一日まで

平成十八年度青森県東部海区底はえなわ漁業操業承認事務取扱要領

## 一 申請書の提出

1 操業承認申請書は、第一号様式により二部作成し、委員会事務局に提出すること。

2 操業承認申請書は、その者が所属する漁業協同組合が取りまとめの上提出すること。

## 二 承認等の通知

委員会が承認したときは、関係漁業協同組合を経由して通知する。

## 三 承認証の交付

委員会が承認したときは、第一号様式による承認証を関係漁業協同組合を経由し、申請者に手交する。

## 四 標識の様式

船体に表示する標識は、第三号様式のとおりとする。

## 五 承認証の書換え

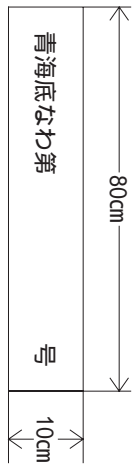
承認証書換え交付の申請書は、第四号様式によるほか、その手続きについては一から三までの規定を準用する。

## 六 承認証の再交付

承認証を亡失し、又はき損したときは、第五号様式により、速やかに承認証再交付申請書を提出しなければならない。その手続きについては一から三までの規定を準用する。



第3号様式



(注 操舵室両側面上部に掲示すること。文字は黒色とする。)

第4号様式

底はえなわ漁業操業承認証書換え交付申請書

平成 年 月 日

青森県東部海区漁業調整委員長 殿

住所

氏名

㊞

底はえなわ漁業操業承認証の書換え交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

- 1 承 認 番 号 青東海調認底はえなわ第 号
- 2 承 認 年 月 日 平成 年 月 日
- 3 書換えしようとする事項

現 在 の 承 認 内 容	書換えしようとする内容

- 4 書換えを必要とする理由

- 注 1 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長とする。

第5号様式

底はえなわ漁業操業承認証再交付申請書

平成 年 月 日

青森県東部海区漁業調整委員会 殿

住所

氏名

㊦

底はえなわ漁業操業承認証の再交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

- 1 承認番号 青東海調認底はえなわ第 号
- 2 承認年月日 平成 年 月 日
- 3 亡失(き損)の理由

- 注1 氏名を記載し、押印することによって、署名することができます。
- 注2 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長とする。

第6号様式

平成18年度底はえなわ漁獲成績報告書

平成 年 月 日

青森県東部海区漁業調整委員会 殿

住所

氏名

㊦

- 1 承認番号 青東海調認底はえなわ第 号
- 2 船名及び登録番号 丸 AM - 号
- 3 漁獲状況

陸揚港	漁獲月	めぬけ		きちじ		その他	
		数量 kg	金額 千円	数量 kg	金額 千円	数量 kg	金額 千円
合 計							

注 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長とする。

青森県西部海区漁業調整委員会指示第一号

青森県西部海区管内沖合海域におけるいかつり漁業の操業について、漁業法（昭和二十四年法律第二百六十七号）第六十七条第一項の規定により次のとおり指示する。

平成十八年三月八日

青森県西部海区漁業調整委員会

会 長 船 橋 正 良

一 集魚灯の合計光力

集魚灯の合計光力は、百八十キロワット以下とする。

なお、集魚灯とは、海上において、するめいかの採捕時に集魚の目的をもって使用し得るよう設備されているものとする。投光器または探照灯であつても集魚時に使用される場合はこれを含む。

二 対象となる漁業

三十トン未満の動力船により、するめいかを対象に操業する小型いかつり漁業

三 指示の有効期間

平成十八年四月一日から平成十九年三月三十一日までとする。

(発行所・発行人)  
青森市長島一丁目一番一  
号 青 森 県

(印刷所・販売人)  
青森市第一問屋町二丁目番七  
七号 東奥印刷株式会社

毎週月・水・金曜日発行  
定価小口一枚二付十五円一銭